

河内長野ガスグループ

CSRレポート2015



平成28年度 おおさか環境賞

準大賞を受賞しました。



I N D E X

I. 社長のメッセージ／「CSRレポート2015」について(作成意義)	1
II. 私たちの約束(行動指針)／トピックス	2
III. 環境貢献への取り組み	3
1. 省エネ・環境性を配慮した社屋	
2. 社内活動	
IV. 地域貢献への取り組み	6
1. 地域防災への取り組み	
2. 地域とのふれあい	
3. 次世代育成の推進	
V. コンプライアンスへの取り組み	19
1. コンプライアンス会議	
2. コンプライアンスアンケート	
3. コンプライアンス研修会	
4. コンプライアンス相談窓口	
5. CSR活動およびコンプライアンス体制強化への地道な取組	



○ Top Message 社長メッセージ

事業環境が大きく変化する中で
今、目の前のお客さまから
絶対的に信頼していただける
地域貢献型の企業を目指します

平素は河内長野ガスグループの事業をご支援いただき誠に有難うございます。河内長野ガスでは 1962 年の事業開始以来、54 年間地域と共に歩んでまいりました。地域のお客さまに「安心・安全」「快適な生活」をご提供することを最優先課題として取り組んでまいりました。同時に「地域で最も信頼され、支持される企業になる」ことを長期ビジョンとして掲げ CSR（企業の社会的責任）にも微力ながら取り組んでまいりました。弊社単独で、あるいは、行政や地域の諸団体と連携して、幅広い分野で地域にお役にたつべく活動を進めております。

その 2015 年度における活動内容をこの度、冊子にまとめましたのでご一読いただき、弊社の活動にご理解頂ければ有難く思います。

引き続き河内長野ガスグループへご支援いただきますようお願い致します。

平成 28 年 11 月

河内長野ガス株式会社
代表取締役社長

山本明彦

「CSRレポート2015」について（作成意義）

私たちは、自然に恵まれた河内長野で天然ガスの供給を通じ、地域の皆さまの快適で安全な生活を守って参ります。また、エネルギー供給会社として、河内長野市、ひいては南河内全体の地域の発展や社会・環境問題に取り組み、皆さまに信頼され安心していただけることが、河内長野ガスグループの社会的責任を果たすことと考えています。私たちは、その実現のため、5つの約束を行動指針として、遵守致します。

私たちの約束（行動指針）～地域のお客さまの笑顔が見たい～

- 1 私たちはお客さまの安心・安全を第一に行動します。
- 2 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。
- 3 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。
- 4 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくります。
- 5 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任ある行動をとります。

私たちは、地域の皆さまに役立つ企業であるため、「私たちの約束（行動指針）」のもと、取り組んできた3つの活動をこのレポートにまとめました。そして、平成29年4月から始まる「ガスの自由化」に向けて、皆さまに選ばれる企業を目指し、努力して参ります。

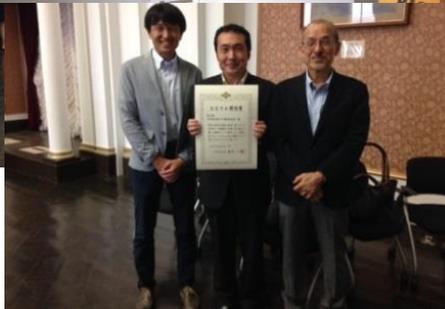
トピックス

「おおさか環境賞」の準大賞を受賞いたしました。

この度、河内長野ガス株式会社は、平成18年より市の教育委員会と小学校との綿密なコミュニケーションの基で進めて参りました、「小学校環境教育出前授業」が評価され、平成28年度「おおさか環境賞」の準大賞を受賞いたしました。

「おおさか環境賞」とは、豊かな環境づくりに向けた活動を奨励するため、大阪府が自主的かつ積極的に他の模範となる環境保全又は創造に資する活動に取り組んでいる個人もしくは団体、又は事業者を表彰する制度です。

当社及び当社グループは、今後も環境面において、地域の皆さまに貢献するための活動を行っていききたいと思います。



I. 環境貢献への取り組み



エネルギー供給会社として、限られた資源を有効に活用するため、省エネに配慮した社屋を基点に、環境との調和をはかる活動を行います。

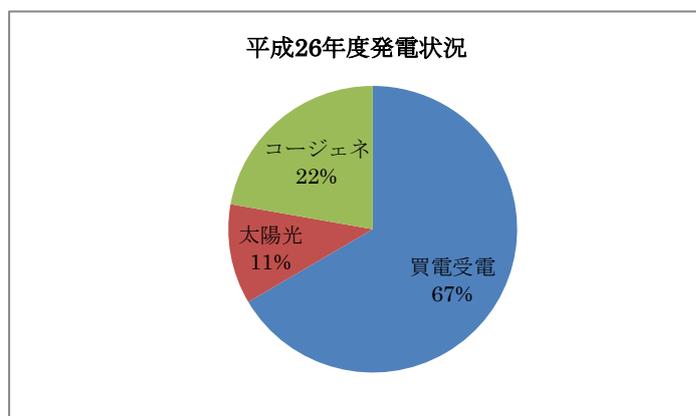
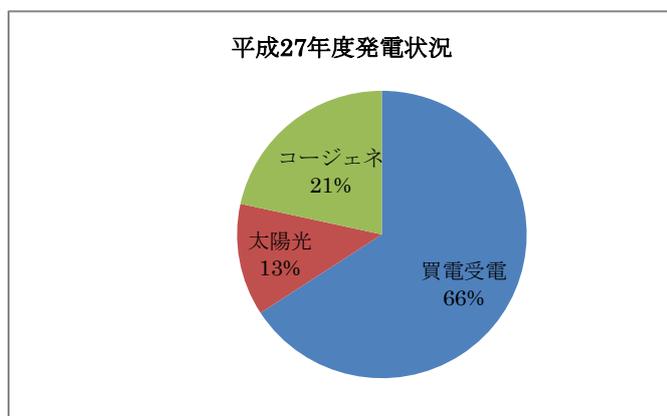
また、私たちが事業活動を営む社屋周辺を社内活動の一環として、定期的に全社員で清掃しています。

1. 省エネ・環境性を配慮した社屋

(1) 自社発電の電力量

河内長野ガスグループは、社屋屋上に 20kw の太陽光パネル及び 35kw のガスコージェネレーションシステム※を 2 台設置しています。エネルギーを供給する会社であるからこそ、限られたエネルギーを有効に使うため、自家発電で全電力使用量の約 3 割をまかなっています。

※ガスを使用してエンジンを稼働させ発電するシステム



(2) ISO50001 認証取得

河内長野ガスグループは、平成 26 年 5 月に完成した社屋に、電力の使用量やガス・水道の使用量をトータル的に管理できる BEMS (ビル・エネルギー・マネジメント・システム) を採用し、エネルギー使用の詳細データの収集と“見える化”を図りました。エネルギー使用を“見える化”することにより合理的に管理していくため、平成 26 年 2 月にエネルギーマネジメントシステム (EnMS) の国際規格である ISO50001 を認証取得いたしました。これまでの地域に根差した都市ガス事業者としての環境貢献に加え、エネルギー使用の効率化、削減に努めて参りたいと考えております。

過去及び現在のエネルギー使用及び使用量の評価

平成 26 年度 および 27 年度 エネルギー使用実績報告 (単位 MJ)

ガス						電力										気温			
空調		一般		コージェネ		コンセント		照明				換気		空調		サーバー		H26	H27
H26	H27	H26	H27	H26	H27														
360	9,360	14,940	23,130	30,735	58,365	36,979	38,444	38,205	42,043	17,049	19,103	9,741	13,709	30,329	31,485	19.8	20.4		
10,215	38,925	22,905	19,665	69,255	61,155	38,385	38,016	43,479	41,665	49,591	23,260	14,247	12,293	33,479	34,028	25.5	27.3		
60,255	60,615	23,850	17,685	84,420	82,170	37,587	37,846	44,357	42,482	53,479	42,422	13,848	13,739	35,832	34,327	28.8	27.3		
113,490	101,970	19,530	15,660	88,110	85,185	37,976	37,966	43,280	39,561	56,181	45,314	15,105	18,076	41,595	38,534	32.8	31.6		
113,085	118,260	16,470	15,390	84,825	72,225	36,919	35,772	42,711	36,490	50,129	28,763	16,201	20,269	41,146	40,628	32.4	33.7		
75,960	65,025	18,585	20,250	83,340	71,730	36,151	34,446	44,376	38,803	52,951	27,717	14,496	17,109	35,782	33,958	28.5	27.2		
27,135	34,515	20,700	23,355	80,550	75,600	37,537	37,846	47,896	42,612	53,569	41,515	12,104	15,294	33,080	33,041	23.3	23.3		
12,690	10,080	26,640	21,870	77,985	65,835	38,195	36,739	48,125	41,356	50,548	22,233	12,901	11,954	30,807	31,116	16.9	17.8		
71,840	38,970	34,785	29,790	75,555	68,985	42,024	39,431	43,519	42,183	47,527	25,164	16,839	15,095	33,409	32,682	8.6	12.7		
75,330	55,395	31,545	30,960	76,050	62,280	41,615	39,262	40,747	38,175	44,586	15,254	17,457	17,727	34,008	33,639	8.1	9.6		
67,500	41,355	28,800	30,330	69,165	58,005	37,577	37,437	39,790	38,394	42,771	14,795	16,520	17,069	30,329	31,685	9.5	10.6		
47,970	26,730	27,225	28,620	74,205	57,375	41,276	39,421	44,745	40,907	45,044	16,291	15,593	16,809	32,981	32,462	13.7	15.2		
675,630	601,200	285,975	276,705	894,195	818,910	462,219	452,628	521,232	484,672	563,425	321,832	175,053	189,141	412,778	407,584				

平成 27 年度エネルギー使用量目標進捗

	平均最高気温	H27年度目標	平均最高気温	使用量想定	使用量実績	前年度実績	前年比	目標比
	H26度実績	(MJ/m ² ・月)	H27度実績	(MJ/m ² ・月)	(MJ/m ² ・月)	(MJ/m ² ・月)		
4月	19.8	64.5	20.4	70.4	59.2	50.0	118.5%	91.8%
5月	25.5	82.3	27.3	87.3	70.7	75.6	93.5%	85.9%
6月	28.8	106.1	27.3	87.3	88.3	97.4	90.6%	83.2%
1Q合計		252.9		244.9	218.2	223.0	97.8%	86.3%
7月	32.8	127.7	31.6	103.3	106.2	116.9	90.8%	83.2%
8月	32.4	123.9	33.7	101.6	103.9	113.7	91.3%	83.8%
9月	28.5	108.7	27.2	86.8	83.0	99.8	83.2%	76.4%
2Q合計		360.3		291.6	293.1	330.4	88.7%	81.4%
10月	23.3	88.3	23.3	72.3	79.8	81.0	98.5%	90.4%
11月	16.9	83.6	17.8	76.4	58.7	76.7	76.5%	70.3%
12月	8.6	113.8	12.7	101.3	77.6	104.4	74.3%	68.2%
3Q合計		285.6		177.5	216.1	262.1	82.4%	75.7%
1月	8.1	112.9	9.6	90.8	80.1	102.4	78.3%	71.0%
2月	9.5	103.9	10.6	109.7	73.5	95.4	77.0%	70.7%
3月	13.7	102.1	15.2	88.2	70.5	93.8	75.2%	69.0%
4Q合計		318.9		288.6	224.1	291.6	76.9%	70.3%
年間合計		1217.7		1002.7	951.5	1107.2	85.9%	78.1%

上記の通り、エネルギー使用量が年間で対目標比-22%と大きく目標を達成いたしました。用途別では、ほとんどの用途でエネルギー使用量の削減が達成できており、照明（電力）は昼休みの消灯の徹底において、換気（電力）は夜間や定休日の換気停止により大幅な削減ができました。

(3) 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガスグループでは、新社屋を建設する際に、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間に設えました。

また、社屋 1 階のセミナールームに設置された冷房・暖房空調のエネルギー源は、大阪府森林組合の間伐材（河内材）を加工した木質ペレットです。森林資源の循環ができ、地球温暖化を防止できます。



社屋内の様子



ペレット式空調屋外機

2. 社内活動

(1) 近隣清掃

河内長野ガスグループは、河内長野市の掲げる「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、月 1 回を目途に、本社周辺および「アドプト・ロード・プログラム」と名付けられた歩道の清掃活動を行っています。尚、「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」とは、河内長野市が管理する道路の一定区間において、地元自治会や企業等の団体が市と協力し合いながら継続的に清掃等のボランティア活動を実施し、地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む制度です。平成 27 年度は 8 回（4 月、5 月、6 月、9 月、11 月、12 月、2 月、3 月）実施しました。



近隣清掃の様子

Ⅱ. 地域貢献への取り組み



河内長野ガスグループは、地域の企業として、お客さまとのコミュニケーションを図り、良き企業市民として、河内長野地域に貢献するよう努めております。

平成 27 年度は、地域貢献として、「地域防災への取り組み」、「地域とのふれあい」、「次世代育成の推進」の3つの柱を掲げ、取り組んで参りました。

1. 地域防災への取り組み

(1) 「河内長野地域連携防災まちづくり講座（計6回）」

第1回「地域連携で取り組む防災まちづくり講座」

第2回「地域で助け合う災害弱者支援講座」

第3回「身近な人を助ける救命救急講習会 ～普通救命講習～」

第4回「避難所運営ゲームHUG訓練講習会」

第5回「災害ボランティア講習会／カードを使って被災者ニーズを考える」

第6回「簡単おいしい非常食講習会」

この講座は、平成24年度に耐震性の問題で、河内長野ガスの新社屋建設が計画されてから、防災面で地域に貢献できないかと河内長野市に呼びかけ、紅谷昇平特命准教授（当時神戸大学／現兵庫県立大学）をお迎えし、地域団体の方々を交えた産・官・民が一体となって取り組んできた「防災まちづくり勉強会」の成果の一つとして実現したものです。

河内長野ガスは、第1回と第6回の発表を担当し、第1回では、河内長野ガスと河内長野市との防災協定に基づく、かまどベンチやマンホールトイレなどの見学も交えた地域防災支援施設としての河内長野ガス社屋の役割と機能について、説明させていただき、また、第6回「簡単おいしい非常食講習会」では、参加者に実際に非常食を作っていただきました。参加者の皆さまの防災への関心の高さをうかがうことができました。

第1回 「地域連携で取り組む防災まちづくり講座」

開催日時：平成27年5月14日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱1階セミナー室

参加者数：22名

①「防災支援拠点施設（河内長野ガス社屋1階）の役割と機能について（河内長野ガスの新社屋の見学含む）」

発表者：河内長野ガス㈱ お客さま部部長代理 安川 浩

②「長野小学校区まちづくり会議の防災の取り組みについて」

発表者：長野小学校区まちづくり会議 会長 大谷 多美子様

③「河内長野市における災害と自助・共助について」

発表者：河内長野市危機管理課課長 浦 俊彦様

第1回ふりかえり

第1回目の講座が河内長野ガス社屋1階セミナー室にて開講。ゲストとして、紅谷昇平特命准教授（当時神戸大学／現兵庫県立大学）、加山孝好市長補佐官（当時）にお越しいただきました。河内長野ガスグループは、河内長野市と協定を結んで「防災支援拠点施設」となった社屋の機能と役割について説明し、その設備を参加者に見学していただきました。また、長野小学校区まちづくり会議 大谷会長が、長野小学校区内における防災の取り組みについて、更に河内長野市危機管理課浦課長が、災害時に、いかにして自分の身を守り、協力して助け合うかを話されました。



河内長野ガス社屋見学の様子



地域連携で取り組む防災まちづくり講座の様子

第2回 「地域で助け合う災害弱者支援講座」

開催日時：平成27年6月18日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱1階セミナー室

参加者数：21名

① 「地域で助け合う災害弱者支援講座」

発表者：河内長野市社会福祉協議会 企画総務課長 河浦 和哉様

障がい者福祉係長 神谷 佳明様

地域福祉推進係長 土橋 崇之様

② 「外国人と防災」

発表者：河内長野市国際交流協会 事務局長 板東 可奈子様

第2回ふりかえり

第2回目は、河内長野市社会福祉協議会 企画総務課の河浦課長中心に、災害弱者である、平常時から何らかのハンディを持っておられる方々を、災害時、いかに支援していくのかという話をされました。一方、河内長野市国際交流協会（K I F A） 板東事務局長より、防災に関して、言葉の壁がある外国人といかに向き合っていくかについてやK I F Aについての講話がありました



地域で助け合う災害弱者支援講座の様子

第3回 「身近な人を助ける救命救急講習会 ～普通救命講習～」

開催日時：平成27年8月20日（木）午後1時30分～4時30分

開催場所：河内長野ガス㈱4階会議室

参加者数：19名

① 「救命処置の必要性についての話と心肺蘇生用DVDの視聴について」

発表者：河内長野市消防署 警備第2課 尾西 茂美様

② 「心肺蘇生用人形とAEDトレーナーを使用した実技訓練について」

指導者：河内長野市消防署 警備第2課 尾西 茂美様

西岡 邦仁様

福本 宏樹様

第3回ふりかえり

第3回目は、河内長野市消防署 警備第2課本署 救急第2係からお越しいただき、心肺蘇生法とAEDの使用方法について説明の後、実演実習をしていただきました。参加者は、最初、戸惑っていたが、次第に慣れていき、参加者全員が、AEDの使用方法をマスターしました。

第3回



基本的心肺蘇生法とAEDの使用法講習会の様子

第4回「避難所運営ゲームHUG訓練講習会」

開催日時：平成27年10月15日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱4階会議室

参加者数：21名

① 「避難所運営ゲームHUG訓練講習会」

発表者：かわちながの市民公益活動推進委員会 センター長 西村 道夫様

第4回ふりかえり

第4回目は、第3回同様、実習形式の講座となりました。かわちながの市民公益活動推進委員会 西村センター長が中越地震等避難所における実情を話された後、実際に、避難所を運営していくゲーム「HUG」をグループに分かれて行いました。「HUG」は、様々な事情を抱えた避難者が訪れ、問題がでてくるなか、時間内でいかに処理してゆかが試されるゲームです。メンバーは苦労しながらも協力してゲームをしていました。避難所の運営の難しさを実感しました。



避難所運営ゲームHUG訓練講習の様子

第5回「災害ボランティア講習会」

開催日時：平成27年12月15日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱1階セミナー室

参加者数：20名

① 「災害ボランティアについて／カードを使って被災者ニーズを考える」

発表者：河内長野市社会福祉協議会 企画総務課長 河浦 和哉様

企画総務課 大西 里沙様

第5回ふりかえり

第5回目は、第2回に引き続いて、河内長野市社会福祉協議会 企画総務課の河浦課長と大西様に発表していただきました。私たちが、あまり理解できていない「災害ボランティア」について説明されました。また、被災者から、どのようなニーズが出て、誰が、どこまで応えるのか、参加者がグループに分かれ考えました。「HUG」同様、自分が被災者でありながら、他の被災者を支援していくという視点に立ち、対応していく良い機会となりました。



災害ボランティア講習会の様子

第6回「簡単おいしい非常食講習会」

開催日時：平成28年2月18日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱1階セミナー室

参加者数：14名

① 「災害非常食について」

発表者：河内長野ガス株式会社 お客様第2チーム 内田 純一

② 「災害非常食の調理方法について」

講師：河内長野ガス株式会社 お客様第2チーム 南出 明美

第6回ふりかえり

第6回目は、第1回に引き続いて、河内長野ガスが担当しました。冒頭に、お客さまチーム担当者が「災害非常食」についての話をしました。日常的に非常食を食べて、補充する「ローリングストック保存法」の説明を中心に行いました。後半も、お客さまチーム担当者が、簡単な災害非常食の調理実習を行いました。最後に、「河内長野地域連携防災まちづくり講座」のふりかえりを各参加者が発表し、お客さま部 安川部長代理があいさつした後、講座が終了しました。



簡単おいしい非常食講習会の様子

(2)「長野小学校区防災避難訓練」

平成28年3月28日(日)に、河内長野市や長野小学校区まちづくり会議、商工会、国際交流協会、河内長野ガスなどが、一体となり、河内長野市立長野小学校にて、「長野小学校区防災避難訓練」を実施しました。防災行政無線による放送を合図に長野小学校へ避難開始です。200名以上の方々が集まりました。会場では、大阪府警本部生活安全指導班による防犯教室やAEDの取り扱い訓練、子ども向けに、水消火器での的当てゲームやジャックアップゲームなどが行われました。河内長野ガスも出展し、ガスメーターやガス管を展示して、ガスの安全性をPRしました。



河内長野ガスのブース

2. 地域とのふれあい

(1) 「第23回河内長野市民まつり」

平成27年5月10日(日)、「第23回河内長野市民まつり」が開催されました。弊社も地球温暖化防止のための環境啓発コーナーにおいて、パネル展示を行い、クイズなどで多くの皆さまにお楽しみいただきました。



会場の様子

(2) 「奥河内SEA TO SUMMIT2015」

平成27年9月26日(土)、奥河内くろまろの郷にて、「奥河内SEA TO SUMMIT2015」関連イベントである「奥河内フェスティバル」があり、出展いたしました。天候にも恵まれ、会場はとてにぎわっていました。

ブースでは、温暖化についてのパネル展示とクイズを出題し、小学生から大人の方まで、パネルに隠されたヒントを探して、楽しんでいただきました。



会場の様子

(3) 「第46回河内長野市防火協会自衛消防隊部会視閲式・消火技術錬成会」

平成27年10月21日(水)、「第46回河内長野市防火協会自衛消防隊部会視閲式・消火技術錬成会」がありました。年に1度、日頃の消火技術の訓練成果を競います。結果、河内長野ガスグループは、消火器競技の部で、3位入賞、屋内消火栓競技の部でも、敢闘賞を受賞しました。



錬成会の様子

(4) 河内長野市民大学「くろまる塾認定講座 河内長野地域学講座Ⅷ～地域事業所のモノづくりと地域活動について学ぶ～」

平成28年2月17日(水)、「くろまる塾認定講座 河内長野地域学講座Ⅷ～地域事業所のモノづくりと地域活動について学ぶ～」の一環で、受講者(約40名)が、河内長野ガスグループ本社社屋の見学に来られました。参加者の方々は、皆さま、勉強熱心で、説明を一生懸命聞いておられました。



見学の様子



(5)「ボランティア・市民活動フェスティバル」

平成 28 年 2 月 28 日（日）に、市民交流センター（キックス）で「ボランティア・市民活動フェスティバル」があり、パネルを展示しました。河内長野ガスグループは河内長野市と協定を締結しており、災害時にボランティアの方々をサポートする地域防災支援施設として、1Fショールームや駐車場を開放すること等を紹介しました。



展示ブースの様子

(6)「みんな集合！生活情報展」

平成 28 年 3 月 4 日(金)～5 日(土)ノバティホール(ノバティながの南館 3 階)で、「みんな集合！！生活情報展」があり、河内長野ガスグループも出展しました。ガスガラストップコンロを展示してPRし、ガスマイコンメーターに関するクイズをしました。



生活情報展の様子

3. 次世代育成の推進

将来を担う子ども達を、環境面において、教育していくことが河内長野ガスの社会的責任と考え、長年にわたり地道な活動を行ってまいりましたが、この度、この活動が評価され、大阪府より「おおさか環境賞」準大賞を受賞しました。

(1) 「小学校環境教育出前授業」

平成 18 年度より、ガスの供給を通じて地域にかかわる会社として、地域で学ぶ次世代の育成に貢献できればと考え、河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校対象に地球温暖化問題を中心としたエネルギー環境教育を行い、平成 27 年度まで、延べ 49 の小学校に 115 回の授業を行いました。

毎年 4 月に河内長野市教育委員会から、河内長野市内の各小学校に向けて、出張環境授業の募集をしてもらい、応募があった小学校に出向いて、授業を行います。

現在、プログラムは、3 種類あり、「A：地球温暖化を学ぶ」、「B：くらしの見直し隊」、「C：ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」となっています。プログラムは、各小学校に選択していただいています。

「A：地球温暖化を学ぶ」は 90 分授業で、前半は地球温暖化の影響や地球温暖化のしくみについて学び、後半では、地球環境を守るために、一人ひとりが毎日のくらしの中で省エネルギーに取り組むことが大切だということを、三択クイズや何の音かを当てる音当てクイズを通じて、理解してもらいます。授業は、各小学校の希望により、45 分の短縮版（短縮版名称：地球温暖化をさぐる／ストップ地球温暖化）もあります。

「B：くらし見直し隊」は、45 分授業で、二酸化炭素（CO₂）排出量を削減することについて、ゲーム形式で楽しく学びます。毎日のくらしを見直し、「地球温暖化を防止するために、毎日続けられること」を実践するきっかけを作ります。

「C：ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」は、45 分授業で、6 年生理科単元「ものが燃えるとき」に対応したプログラムです。理科授業の復習、ガスコンロを知ろう、燃焼実験という内容になっています。マッチ、ろうそく、ガスコンロの炎の観察と食材をつかった燃焼実験（あぶり）を通じて燃焼に必要な条件、燃え方の違い、火の色々な役割を知ります。

平成27年度の活動内容

- ・6月 三日市小学校 「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」



- ・10月 高向小学校 「地球温暖化を学ぶ」



- ・12月 石仏小学校 「地球温暖化をさぐる」



(2)「天見 子ども自然とあそびの教室」活動協力

天見子ども自然とあそびの教室実行委員会とNPO法人ナック(NAC)が主催する「天見 子ども自然とあそびの教室」に協賛し、天見公民館を活動拠点として、天見地区の自然(山野・川)等を生かした種々の体験活動のサポートをしています。各年度5月から翌年3月まで、毎月1回、合計11回開催され、集まった河内長野市内の小学校のたくさん子ども達は、普段、あまり触れることのない自然を前に、目を輝かせていました。

平成27年度各月の活動内容

- ・5月「野や山の宝物さがし」
- ・6月「ネイチャーゲーム」
- ・7月「竹のクラフト」
- ・8月「川遊び・水生生物観察」
- ・9月「川遊びと魚つり」
- ・10月「どんぐりひろいとクラフト」
- ・11月「天見周辺をポイントハイキング 草や木の実や種を集めよう」
- ・12月「お正月のしめなわづくり」
- ・1月「落ち葉で焼きいも」
- ・2月「レクレーションとゲーム」
- ・3月「家族と一緒にカーニバル」



教室の様子

(3) 「くろまるキッズインキックス」

平成 27 年 8 月 28 日（金）、市民交流センター（キックス）で開催された「くろまるキッズ」において、「大阪ガス ガス科学館」とタイアップし、「超低温の世界をのぞいてみよう」をテーマに、実験イベントを行い、約 100 名の方にご参加いただきました。液体窒素で固まったバナナでクギをうったり、おもちゃの車が浮いて走ったりと、見どころ満載で、子ども達は大喜びでした。



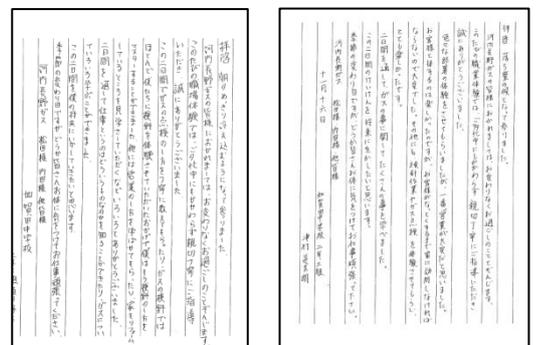
実験の様子

(4) 職場体験

中学生が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことや働くことの意義や尊さを理解し、実感できるように、河内長野市内の中学校から、生徒の受け入れを行っています。平成 27 年度は、11 月 12 日（木）～13 日（金）に、加賀田中学校の男子生徒 2 名が職場体験に来られ、無事修了し、後日、御礼状をいただきました。仕事を通じて、その大変さや人と接することの楽しさを理解できたという感想をいただきました。



修了書を受け取る中学生



中学生からの御礼状

(5) 「子育て・孫育てフェスタ 親力up かわちながの ～笑顔になれる1日～」

平成28年2月7日(日)、市民交流センター(キックス)で、「子育て・孫育てフェスタ 親力up かわちながの ～笑顔になれる1日～」が行われました。

河内長野ガスグループは、みなさんに炎のことをもっと知っていただきたくて、炙り体験を行い、たくさんの親子に参加していただきました。みなさん、チーズやソーセージ、だんごを楽しそうにあぶって、召し上がっていました。「おいしい」という声があちらこちらから聞こえ、とても喜んでいただきました。



体験の様子

Ⅲ. コンプライアンスの取り組み



河内長野ガスグループは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとすることに努めて参ります。

1. コンプライアンス会議

河内長野ガスグループでは、月に1回以上、企業法務の専門家である追手門学院大学 教授 水野浩児先生をお迎えし、コンプライアンス委員によるコンプライアンス会議を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報、意見交換を行っています。

2. コンプライアンスアンケート

河内長野ガスグループでは、全社員を対象にした、コンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、全社員のコンプライアンスへの意識付けをしています。また、コンプライアンスに関する問題の早期発見にも繋げる努力も行っています。

回答率：平成26年度 98% 平成27年度 99%

3. コンプライアンス研修会

河内長野ガスグループでは、全社員を対象に、年に1回、外部専門家によるコンプライアンス研修会を実施しています。コンプライアンスアンケートと共に、全社員のコンプライアンスに対する意識付けを徹底しています。平成27年度は、5月15日、6月1日の2回に分けて、全社員対象に実施しました。



研修会の様子

4. コンプライアンス相談窓口

河内長野ガスグループでは、コンプライアンスを浸透させるため、従業員1人1人が問題意識を持つことや、またコンプライアンスを相談できる体制作りが重要と考えています。コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、外部専門家に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。

5. CSR活動およびコンプライアンス体制強化への地道な取組

追手門学院大学 教授 水野浩児

河内長野ガスグループは、「地域のための企業」であることを意識しながら日々の活動を行っておられます。河内長野市民の皆様の役に立つこととは、「お客さまの求める安全で質の高いサービスの提供」であり「ガス事業を通じて地域の発展に貢献する」ことだと考えています。地域の皆様に「安全」「安心」を感じていただくことは当然であり、地域の皆様とさらに一歩進んだ信頼関係を構築することができなければ、河内長野ガスグループの存在意義ないと考えています。

約10年前コンプライアンス体制強化を掲げ、抜本的な改革に取り組みました。河内長野ガスグループのメンバー全員が、研修や日々の取組の中で、時間をかけて着実に重要性を理解してきました。私は外部相談員として河内長野ガスグループのメンバーと関与していますが、年々、コンプライアンスに対する意識の質が向上していると感じています。CSRという慣れない言葉に戸惑いながらも、これまでの地域のための地道な取り組みがCSR活動であることに気付き、地域の皆様のお役に立つことを意識して地道に取り組んできま

した。これまでの取組から、派手さはなく不器用な会社ですが、何事にも真摯に取り組む社風で、底力はあるように感じます。2016年おおさか環境賞を受賞したことは一つの象徴だと思います。

河内長野ガスグループは規模的には中小企業に分類されますが、コンプライアンスやガバナンス（企業統治）等で求められる水準は大企業以上の水準です。特にガス事業会社は平成29年4月からの自由化に向け、求められる課題をクリアできなければ、存続はできないと危機感を感じながら取組んでいます。これからも、地道な活動を続け、地域の皆様に「評価」されるパートナーになるよう努力していきたいと考えています。地域に生きる河内長野ガスグループに対して、地域の皆様から厳しくもあたたかいお言葉をいただけることを願っています。



追手門学院大学 水野 浩児 教授